



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 松田産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7456 URL <https://www.matsuda-sangyo.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松田芳明
問合せ先責任者（役職名） 取締役CSR・IR部長（氏名） 田中善則 TEL 03-5381-0728
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月11日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (2025年11月26日に機関投資家向け決算説明会をオンラインにて開催予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	288,248	29.7	8,061	28.4	8,441	28.3	6,087	31.7
2025年3月期中間期	222,170	24.3	6,278	23.5	6,580	12.0	4,622	13.8

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 3,964百万円(△34.9%) 2025年3月期中間期 6,085百万円(16.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年3月期中間期	円 銭 235.04	円 銭 —
2025年3月期中間期	円 銭 178.34	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	182,700	102,769	56.0
2025年3月期	168,900	100,134	59.1

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 102,261百万円 2025年3月期 99,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2026年3月期	—	50.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	17.3	15,400	21.5	16,200	19.8	11,500	21.6	443.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	26,908,581株	2025年3月期	26,908,581株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,066,665株	2025年3月期	991,453株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	25,899,883株	2025年3月期中間期	25,917,238株

※ 当社は、当中間連結会計期間より株式報酬制度「役員報酬BIP信託」を導入しております。期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式（2026年3月期中間期 75,200株、2025年3月期 一株）を含めております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用や所得環境に緩やかな回復はみられるものの、米国の通商政策の動向や地政学リスクの高まりにより世界的な景気不安が続く、国内景気は物価上昇の継続による個人消費の伸び悩みなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業においては、資源リサイクルの総合力及び高機能電子材料の開発などによる差別化のもとで、国内外における生産拠点の整備・拡充、貴金属原料の確保、製商品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組みました。また、食品関連事業においては、グローバルに展開する調達力を活かして、顧客ニーズに応えた商品の開拓と安全安心な商品の安定提供により、販売量の拡大に取り組みました。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高288,248百万円(前年同期比29.7%増)、営業利益8,061百万円(前年同期比28.4%増)、経常利益8,441百万円(前年同期比28.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益6,087百万円(前年同期比31.7%増)となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界の電子デバイス分野は、AIサーバーやデータセンター向けは需要拡大が続く好調に推移した一方で、自動車向けはEVの生産が伸び悩むなど、半導体・電子部品等の生産は緩やかな回復に留まりました。

このような状況の中で、当事業においては、宝飾分野を含めた貴金属リサイクル取扱量の増加に努めたことに加え、貴金属相場の上昇が追い風となり、売上高及び営業利益は前年同期に比べ増加しました。

これらの結果、当事業の売上高は227,713百万円(前年同期比34.8%増)、営業利益は6,319百万円(前年同期比28.1%増)となりました。

食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、原材料価格などの物価上昇の影響を受け、消費者の購買姿勢は依然として慎重で、個人消費における節約志向は継続しております。

このような状況の中で、当事業においては、多様化するニーズに的確に対応した商品提案や安定供給に努めた結果、水産品の販売量は減少しましたが、畜産品、農産品の販売量は増加し、販売価格も上昇したことから、売上高及び営業利益は前年同期に比べ増加しました。

これらの結果、当事業の売上高は60,556百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益は1,742百万円(前年同期比29.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ13,800百万円増加し、182,700百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金、棚卸資産並びに有形固定資産の増加によるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ11,164百万円増加し、79,930百万円となりました。これは主として買掛金、前受金及び長期借入金の増加と、短期借入金の減少との差引によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2,635百万円増加し、102,769百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加と繰延ヘッジ損益の減少との差引によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,231百万円増加し、13,660百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動により増加した資金は3,691百万円となりました。これは主として税金等調整前中間純利益、減価償却費並びに仕入債務の増加による資金の増加と、売上債権、棚卸資産の増加及び法人税等の支払いによる資金の減少との差引によるものです。なお、前年同期の2,450百万円の資金の増加に比べ1,241百万円増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動に使用した資金は2,513百万円となりました。これは主として工場設備新設等の有形固定資産の取得によるものです。なお、前年同期の2,408百万円の支出に比べ105百万円の支出増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動により増加した資金は1,374百万円となりました。これは主として長期借入金の増加による資金の増加と、短期借入金の返済、配当金の支払いによる資金の減少との差引によるものです。なお、前年同期の1,160百万円の資金の減少に比べ2,534百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年11月4日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,878	14,509
受取手形及び売掛金	34,088	38,973
商品及び製品	34,344	35,319
仕掛品	999	716
原材料及び貯蔵品	25,610	28,084
未収入金	1,413	2,220
その他	6,802	7,407
貸倒引当金	△14	△9
流動資産合計	116,124	127,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,120	20,959
減価償却累計額	△8,242	△8,404
建物及び構築物(純額)	12,878	12,555
機械装置及び運搬具	20,299	20,638
減価償却累計額	△15,407	△15,863
機械装置及び運搬具(純額)	4,892	4,775
土地	17,027	16,989
リース資産	1,637	1,709
減価償却累計額	△979	△1,065
リース資産(純額)	658	644
建設仮勘定	2,079	3,756
その他	1,927	1,778
減価償却累計額	△1,605	△1,426
その他(純額)	322	352
有形固定資産合計	37,858	39,073
無形固定資産		
その他	3,028	2,968
無形固定資産合計	3,028	2,968
投資その他の資産		
投資有価証券	7,894	8,624
繰延税金資産	445	1,534
その他	3,619	3,355
減価償却累計額	△49	△59
その他(純額)	3,569	3,296
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	11,889	13,435
固定資産合計	52,775	55,476
資産合計	168,900	182,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,176	18,867
短期借入金	11,542	7,102
1 年内返済予定の長期借入金	4,108	5,360
リース債務	228	279
未払法人税等	2,796	2,469
賞与引当金	1,238	1,633
未払金	994	1,702
前受金	7,666	9,645
その他	3,860	6,339
流動負債合計	48,613	53,401
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	17,047	23,297
リース債務	446	380
繰延税金負債	62	6
役員退職慰労引当金	795	—
執行役員退職慰労引当金	30	—
役員株式給付引当金	—	13
退職給付に係る負債	1,510	1,485
その他	159	1,247
固定負債合計	20,152	26,529
負債合計	68,765	79,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	89,565	94,616
自己株式	△1,396	△1,688
株主資本合計	95,737	100,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	818	1,120
繰延ヘッジ損益	△900	△2,932
為替換算調整勘定	3,960	3,460
退職給付に係る調整累計額	125	117
その他の包括利益累計額合計	4,005	1,766
非支配株主持分	391	507
純資産合計	100,134	102,769
負債純資産合計	168,900	182,700

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年 9月30日)
売上高	222,170	288,248
売上原価	204,836	267,511
売上総利益	17,333	20,736
販売費及び一般管理費	11,055	12,674
営業利益	6,278	8,061
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	21	25
持分法による投資利益	548	626
その他	88	100
営業外収益合計	665	761
営業外費用		
支払利息	156	240
為替差損	178	88
その他	27	52
営業外費用合計	362	381
経常利益	6,580	8,441
税金等調整前中間純利益	6,580	8,441
法人税、住民税及び事業税	2,124	2,535
法人税等調整額	△162	△328
法人税等合計	1,961	2,206
中間純利益	4,618	6,235
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△3	147
親会社株主に帰属する中間純利益	4,622	6,087

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	4,618	6,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	301
繰延ヘッジ損益	385	△2,043
為替換算調整勘定	942	△498
退職給付に係る調整額	123	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	△18
その他の包括利益合計	1,466	△2,271
中間包括利益	6,085	3,964
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	6,071	3,848
非支配株主に係る中間包括利益	13	115

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,580	8,441
減価償却費	1,333	1,717
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	359	394
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	135	△48
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△16	△1
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	1
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	13
受取利息及び受取配当金	△28	△35
支払利息	156	240
持分法による投資損益(△は益)	△548	△626
売上債権の増減額(△は増加)	783	△5,089
未収入金の増減額(△は増加)	48	△808
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,610	△3,465
仕入債務の増減額(△は減少)	1,044	2,870
未払金の増減額(△は減少)	△33	984
その他	△1,297	1,761
小計	2,910	6,344
利息及び配当金の受取額	284	362
利息の支払額	△80	△158
法人税等の支払額	△663	△2,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,450	3,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	880
有形固定資産の取得による支出	△2,024	△2,899
無形固定資産の取得による支出	△327	△392
その他	△57	△102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,408	△2,513
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,500	△4,687
長期借入れによる収入	10,100	10,000
長期借入金の返済による支出	△1,858	△2,498
配当金の支払額	△777	△1,036
自己株式の取得による支出	△0	△292
その他	△124	△111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,160	1,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	405	△320
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△713	2,231
現金及び現金同等物の期首残高	14,449	11,428
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,735	13,660

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	168,887	53,282	222,170	—	222,170
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	16	16	△16	—
計	168,887	53,299	222,186	△16	222,170
セグメント利益	4,933	1,344	6,278	—	6,278

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	227,713	60,534	288,248	—	288,248
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	21	21	△21	—
計	227,713	60,556	288,270	△21	288,248
セグメント利益	6,319	1,742	8,061	—	8,061

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。